

2017年10月6日  
日本図書館協会  
目録委員会

## 『日本目録規則 2018年版』（仮称）策定スケジュールの見直しについて

日本図書館協会目録委員会は、国立国会図書館収集書誌部との連携のもとに、新しい『日本目録規則』の策定作業を進め、2017年2月に『日本目録規則 2018年版』（仮称）の「全体条文案」を公表しました。この際、以下のスケジュールを表明しておりました。

- ・大阪と東京で検討集会を開催するとともに、2017年7月末までパブリック・コメント（パブコメ）を募集する。
- ・パブコメ対応を含む各章条文整備、提示できていない付録の作成等に取り組む。
- ・2018年3月ごろに新規則を完成させてウェブ上でPDF形式による公表を行う。
- ・2018年度に入って、冊子体の刊行を行う。

これは、新規則の公表を「2017年度」としてきた、従来の想定スケジュール（公表）に沿うものです。

2月以降、検討集会とパブコメを通じて、非常に多くのご指摘・ご意見をいただきました。細かく項目別に問題を整理すると約900件に及び、規則全体に関わるご指摘もあります。館界のみなさまのご協力に、厚く御礼申し上げます。また、全体条文案公表段階で検討課題としていた箇所も、相当数にのぼります。

これらの問題・課題に真摯に向き合うとともに、できる限り遺漏のない新規則とするため、このたび国立国会図書館収集書誌部との合意のもとで、以下の通りスケジュールを見直すこととしました。データ作成機関における実装方法や適用細則の検討等に資するため、旧スケジュールに近い日程で「予備版」（PDF形式）をまず公表し、その後さらに調整を経て本版（冊子体とPDF）を公表という形をとります。

### 2018年3月 PDF形式で「予備版」公表

- ・この段階で骨格を固め、以後、条文の大幅な組み替えは行わない
- ・重要な用語も確定し、以後、原則として見直しは行わない
- ・細かな文言の修正は、全般にわたって行う可能性がある
- ・この時点では、一部の付録はできていない可能性が高い

\*再度のパブコメ募集は行わない予定

2018年4月～ 付録作成作業、全体調整・校正、冊子体編集

2018年12月ごろ 冊子体刊行、PDF形式（本版）公表

旧スケジュールでご予定のみなさまには申し訳ありませんが、よりよい規則とするよう完成への努力を続けますので、ご理解のほど、お願い申し上げます。